

2023年11月20日 第92回運輸政策セミナー  
交通サイバーセキュリティ  
～サイバーセキュリティに関する国・企業の取組  
と最新の動向を踏まえた対策～  
宿利会長 開会挨拶

皆様、こんにちは。運輸総合研究所 会長の宿利正史です。

本日も、大変多くの皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

運輸総合研究所では、2015年度以来、継続的に交通サイバーセキュリティに関する研究調査とセミナーを行ってきており、昨年11月には、安全保障環境の変化やDXの進展等を踏まえた経営層の役割をテーマにセミナーを開催いたしました。同時に、セミナーにご参加いただいた皆様の疑問や問題意識などを把握するためのアンケートを実施し、本日ご登壇いただく名和利男様の監修のもと、サイバーセキュリティに関するフォローアップ情報をご参加の皆様に対しお届けいたしました。

本日のセミナーでは、ChatGPTをはじめとする生成AI技術の進展、ウクライナやイスラエル・パレスチナ情勢など安全保障環境の変化等により、サイバー攻撃が高度化、多様化する中で、交通サイバーセキュリティについて、官民の取組みをさらに一歩進めるために何をなすべきかについて、皆様と一緒に考えてみたいと思います。

サイバー攻撃の高度化・多様化については、国際紛争が従来の武力戦に、サイバー空間での情報戦を加えたハイブリッド戦となる中で、DDoS(ディードス)攻撃によるウェブサイトの閲覧障害が複数発生しています。また、ランサムウェアを用いたサイバー攻撃が多発する中で、本年7月には名古屋港でランサムウェアを用いた攻撃により、システム障害が発生し、物流が混乱したことは大きく報道されたところです。

このような状況の中で、企業等における個別対策はもとより、サプライチェーン全体での対策強化、レジリエンスの向上など、サイバー環境の変化に対応したセキュリティ対策が重要になっていることから、本日のセミナーを開催することとした次第です。

また、すでに皆様にご案内しているとおり、当研究所の交通サイバーセキュリティに関するポータルサイトに、サイバーセキュリティに関する用語集を掲載しています。これは、これまでのセミナーで、サイバーセキュリティに関する専門用語が多いことから用語集を作成してほしいという複数のご要望を頂いたことに対応したもので、名和利男様の監修のもと作成したものでございます。さらに、前回のセミナーと同様に、本日ご参加いただいた皆様の疑問や問題意識などを把握するためのアンケートを実施し、引き続き名和利男様の監修のもと、フォローアップ情報をご参加の皆様にお届けする予定です。

さて、本日のセミナーは、最初に、国土交通省大臣官房政策立案総括審議官の池光 崇 様から、サイバーセキュリティに関する政府及び国土交通省の最近の取組についてご講演いただき、続いて、株式会社日立製作所情報セキュリティリスク統括本部副統括本部長の村山 厚 様から、サイバーレジリエンスの向上に関する取組について、ご講演いただき、最後に、サイバーセキュリティ実務の第一人者であり、先程ご紹介しました株式会社サイバーディフェンス研究所専務理事の名和利男 様から、既存の対策では防御や回避が困難な領域に対する対策についてご講演いただきます。

3名の方の講演の後に、サイバーセキュリティに関する各種審議会の委員長等を歴任されている、情報セキュリティ大学院大学の後藤厚宏 学長にコーディネーターとなっていただきまして、各講演の総括とともに皆様と質疑応答を行います。

本日のセミナーが、ご参加いただいております多くの皆様方にとりまして、真に有益なものとなりますことを期待いたしまして、私の挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございます。